

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 玉島商業 高等学校
実践場面	確定申告体験の実践学習
実践日時（時期）	令和6年2月6日（火）
対象生徒（学年）	簿記部1、2年生の生徒5名
連携の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 包括連携協定（ 玉島商工会議所 ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input checked="" type="checkbox"/> 技術指導 <input checked="" type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他

実践の内容

【現状】

- ・教科「商業」を学ぶ学校では、科目「簿記」「財務会計Ⅰ・Ⅱ」などで、会計処理や財務諸表の作成について学んでいる。
- ・教科書等で取り上げられる様々な資料は模擬的なもので、実際に企業等で使用されている帳面等を見る機会は少ない。



【実践内容】

- ・学校評議員が勤務している玉島商工会議所へ、包括連携協定に基づき、地域連携のお願いをしたところ、地元企業の確定申告に関する補助を、高校生にさせてもらうこととなった。
- ・当日は、簿記部1、2年生の生徒5名が玉島商工会議所を訪れ、確定申告へ向けた一連の流れを体験する実践学習を実施した。
- ・玉島商工会議所会員事業者の協力のもと、集計表の一部の作成体験として、実際に使われている帳面から仕訳を起こす、科目を取りまとめるといった作業に取り組んだ。
- ・なかなか合計が合わないなど苦慮する場面もあったが、生徒からは「授業では触れられない、実際に使われている帳面を見ながら自分で電卓をたたくという貴重な体験ができた。」などの感想があった。



実践による効果等

- ・教科書や教員の説明だけでは学ぶことのできない、実践的な知識・技術を学ぶことができた。
- ・簿記や会計の重要性を広める良い事例として、玉島商工会議所とともに日本商工会議所の取材を受け、HPに紹介された。

※実践の様子が見える写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）